

発行元
東京新聞
南千住専売所
Tel.3803-1781
発行責任者
鬼塚 佳代子
Tel.090-2657-0300

すまいるたうん



第68号
平成20年
4月23日

本気をだせば
なんでもやれる
旅の詩人 須永博士

「父ありて我が強さあり
母ありて我が優しさあり
父母の姿いつも忘れられず
いつも我が人生の心の支えなり」

千代大海関が、十両昇進後にご両親に贈ったのは須永さんの詩です。

「人に負けてもいい。
しかし、やるべきことをやらない
自分の弱さに絶対に負けてはならない」

東京新聞夕刊の「心の語録」に、ソフ
トボール・アテネ五輪代表選手が書いた
のも須永さんの詩です。

「辛く苦しい時お世話になりました」

2年連続賞金女王に輝いたプロゴルファ
福嶋晃子さんが、感動奮起したのは須永
博士ひろしさんの詩画集です。

これらのスポーツ選手達の支持を受け
ている須永博士さん（66歳）の自宅は、
南千住にあります。旅の詩人として44年、
これまでにアメリカやフランス・メキシ
コなど世界各国や日本各地の放浪の旅を
続けながら、詩や絵、書、油絵、陶器を
制作する須永博士さんは詩画集を50集、
50万冊発行しています。

「一番好きな絵を書くこと、詩を
かくことをやると決めたんです」

対人恐怖症になり会社を辞め、引きこ
もり状態の中、自分の生きる道を探しに
出かけた鎌倉での決意で吹っ切り歩み出
したのが、須永さんが22歳の時でした。

24歳で地元で個展を開催、27歳で銀座で
個展を開催した後は、放浪の旅をしなが
ら各地で現在も展覧会開催と講演会を行っ
ています。

わたし今
生きることに必死です
生命のおとさ
今日一日の大切さ
あなたを想う恋しさ
一瞬一瞬に
心をこめて
願いをかけて

わたし今
生きることに一生懸命です
”悔いのない人生”をめざして
力のあるかぎり
挑みつづけます



「1リットルの涙」作者の木藤亜也さん
の病室を初めて訪問した時、須永さんが
亜也さんにプレゼントした大きなパネル
に丘の上の立つ女の子の周りに野の花が
ちりばめられているイラストとともに書
かれた詩です。
出会いから6年間、病室を訪れて亜也さ

☆須永博士美術館☆
〒869-2505
熊本県阿蘇郡小国町北里460
Tel & Fax 0967-46-5847
http://www.sunaga-hiroshi.com
笑力（お好み焼き・もんじゃ・
たこ焼き）
足立区千住3-19ウイングサンユ
北千住1F Tel.3879-1112
営業時間 17:30 ~ 23:00
定休日毎週木曜、第2・第3水曜

んの最後の旅立ちの日は須永さんとお母
さんで見送ったそうです。
「1リットルの涙」の表紙の題字と絵も
須永さんです。お母さんの木藤潮香さん
著の「いのちのハードル」（幻冬舎）の
中で須永博士先生（223〜225ページ）の
項目があり、須永さんへの感謝の気持ち
が書かれています。
「最後の1枚を今書き上げました」
伺った時、今秋発行予定の「奇跡への
第一歩」の原稿ができました。
「ここまでこれたのは、お母さん
や奥さんのおかげです」
5人の子供を育てながら、須永さんを
支えてきた奥様の節子さんは、信頼の眼
差しで須永さんを見つめておりました。
須永さんの作品は娘さんの経営するお
店「笑力」に展示してあります。書籍・
講演のお問い合わせは須永博士美術館へ